

特色ある大学入試のために

平成 24 年度 大学入試センター試験

The National Center Test 2012



大学入試センター試験は、 大学が共同して実施する試験です

1 センター試験実施の趣旨等

- (1) 大学入試センター試験は、大学に入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とするものであり、国公立の大学（短期大学を含む。以下同じ）が、それぞれの判断と創意工夫に基づき適切に用いることにより、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的に判定することに資するために実施するものです。
- (2) 大学入試センター試験は、この試験に参加する大学（以下「各大学」という。）が大学入試センターと協力して同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施します。

2 実施にあたっての業務分担等

- (1) 大学入試センター
- ・試験問題の作成、印刷、輸送
 - ・受験案内、実施マニュアルなどの作成
 - ・出願の受付、試験場の指定、受験票の交付
 - ・答案の採点、集計
 - ・試験成績などの各大学への提供
 - ・試験成績の本人通知
- (2) 参加大学
- ・大学入試センター試験の利用教科・科目及び各大学ごとの学力検査などの予告
 - ・志願者への受験案内の配付
 - ・試験場の設定、試験監督者などの選出
 - ・試験問題の保管・管理
 - ・試験の実施、答案の整理・返送、試験成績の請求
 - ・試験問題作成に携わる者の派遣

3 出願方法

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業見込者は、在学している学校を經由
- (2) 高等学校又は中等教育学校卒業等者は、直接郵送
- (3) 大学入試センター試験の成績通知を希望する入学志願者は、出願時に併せて申し出る

4 検定料

3 教科以上受験 18,000 円

2 教科以下受験 12,000 円

※成績通知を希望する場合、出願時に成績通知手数料 800 円を併せて払込

5 試験場

- (1) 高等学校又は中等教育学校卒業見込者は、出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場
- (2) 高等学校又は中等教育学校卒業等者は、志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場

6 成績提供

- (1) 私立大学に対しては平成 24 年 2 月 1 日㊦から、国公立大学は平成 24 年 2 月 2 日㊦から成績提供を行います。国公立大学のアドミッション・オフィス入試及び大学入試センター試験を課す推薦入試については、平成 24 年 2 月 1 日㊦から行います。
- (2) 過年度（平成 21 年度～ 23 年度）の大学入試センター試験に係る成績は、平成 23 年 6 月 1 日㊦から平成 24 年 4 月 13 日㊧まで行います。（平成 23 年 10 月 3 日～ 11 月 8 日、平成 24 年 1 月 13 日～ 31 日を除く）
- (3) 成績提供にあたっては、志願者 1 人 1 回につき 570 円の成績提供手数料が必要です。

7 障害のある志願者等に対する受験上の特別措置

障害等の種類・程度に応じて申請に基づき審査の上、特別措置を講じます。

- (1) 点字による出題・解答、拡大文字による出題、試験時間の延長、マーク方式によらない文字又はチェックによる解答、代筆による解答、手話通訳者の配置、介助者の配置、特定試験室の指定等
- (2) 重度難聴者などリスニングを受験することが困難な者については、リスニングの受験を免除

〈参加大学〉

- ・大学入試センター試験の利用教科・科目及び各大学ごとの学力検査などの予告
- ・志願者への受験案内の配付
- ・試験場の設定、試験監督者などの選出
- ・試験問題の保管・管理
- ・試験の実施、答案の整理・返送、試験成績の請求
- ・試験問題作成に携わる者の派遣

大学入試センター試験

〈大学入試センター〉

- ・試験問題の作成、印刷、輸送
- ・受験案内、実施マニュアルなどの作成
- ・出願の受付、試験場の指定、受験票の交付
- ・答案の採点、集計
- ・試験成績などの各大学への提供
- ・試験成績の本人通知

各大学の選抜へ

大学がそれぞれによりよい入試を実現できるよう、 大学入試センターはその期待にこたえます

1 良質な問題の確保

試験問題は、大学の教員で構成される教科科目第1委員会が出題科目別に部会に分かれ、協議を重ねて作成されます。その後、教科科目第2委員会において、構成、内容、正解、用字用語、採点方法等について、教科科目第3委員会において、形式、表現、重複等について、それぞれ点検・照合を行うほか、高等学校関係点検協力者が難易度・出題範囲について点検するなど、あらゆる角度から検討を加えて作成することとしています。さらに、障害のある志願者のための試験問題を作成する特別問題作成部会を設け、点字試験問題の作成等を行っています。

2 各大学が実施する試験との適切な組合せによる大学入試の個性化・多様化

「平成24年度大学入学者選抜実施要項について(平成23年5月31日23文科高第229号文部科学副大臣通知)」において、AO入試による場合は、大学教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するための手段の1つとして、大学入試センター試験の成績を出願要件(出願の目安)や合否判定に用いることに留意するよう明記されました。

3 適正な試験問題の作成

大学入試センター試験は、その利活用の方法は各参加大学に任されていますが、選抜試験に利用されるものであることも踏まえると識別性を保有する必要等があり、試験問題の作成にあたっては6割程度の平均点を目標としています。

大学入試センターでは、問題作成の過程で、過去の試験の設問ごとの正答率等のデータを参考として科学的検証を加え、また部会間でも調整を重ねて、できるだけ均質の問題を作成するよう努めるとともに、配点にも工夫し、得点差が生じないように努力しています。

4 各大学に適した利用

大学入試センター試験では、各大学がその大学・学部に必要な教科・科目を自由に指定することができます。

5 大学入試センター試験参加のメリット

高等学校等新規卒業者が年々減少している中で志願者数は増加しています。なかでも現役志願率が増加し続いています。そして、大学入試センター試験参加大学・短期大学数も年々増加しています。大学入試センター試験に参加することにより、新しい層の学生の開拓や、全国へのアピール、さらに面接などに重点を置くことができるなど、様々なメリットがあります。

大学入試センター試験参加大学の声

- ・大学入試センター試験に参加した選抜については、全科目に平均的な学力を有するオールラウンド型の学生が受験するなど、従来とは異なった層の学生を開拓することができた。
- ・大学入試センター試験への参加により、今まで実施が難しかった小論文や面接を導入する余裕ができた。
- ・受験者が全国的に広がり、受験者数も従来より増加した。
- ・大学のPRに役立ち、イメージアップが図れた。
- ・大学独自の試験のみで選抜を行うよりも、広範囲の教科・科目から選択することで広い視野から受験者の適性の評価が行えるようになった。
- ・同一大学・学部の受験チャンスが1回増えたことが受験者に好評であった。

6 各大学での参加方法の一例

- ・基礎的な学力を幅広く評価するため、出題教科・科目を総合的に活用。
- ・一般入試の定員の一部について、大学入試センター試験の特定の教科・科目を選択。
- ・教科・科目に幅を持たせ、受験者が得意なものを選択させる。
- ・調査書と大学入試センター試験で第一次の選抜を行い、その合格者について面接試験を実施。
- ・工学部において、大学入試センター試験の数学・外国語を選択。大学が行う試験は理科のみを実施。
- ・入学定員の一部について、大学入試センター試験と大学が行う試験のうち、高得点の方を合否の判定に使用。
- ・推薦入試について、大学入試センター試験の国語・外国語のみを用い、大学が行う試験として面接を実施。
- ・大学入試センター試験で必要とする成績水準を明示した上で、大学入試センター試験の成績がその水準に達している者は大学が行う試験に進ませ、大学入試センター試験の成績は合算せずに大学が行う試験の成績のみで合否を判定。
- ・大学の自主的な判断に基づき、過年度の大学入試センター試験の成績を当該年度の入学者選抜に使用。

大学入試センター試験では
リスニングテストも実施します

1 実施方法

英語リスニングは、外国語「英語」の一領域として実施し、試験時間 60 分の中で、解答開始前に IC プレーヤーの作動確認・音量調整を受験者本人が行った後、30 分間で音声問題を解答します。解答時間中に、機器の不具合や解答が続行できないような事故等が発生した場合は、監督者の指示で試験を中断し、英語リスニングの試験終了後に「再開テスト」として、別の IC プレーヤーにより中断した設問からテストを再開することとなっています。

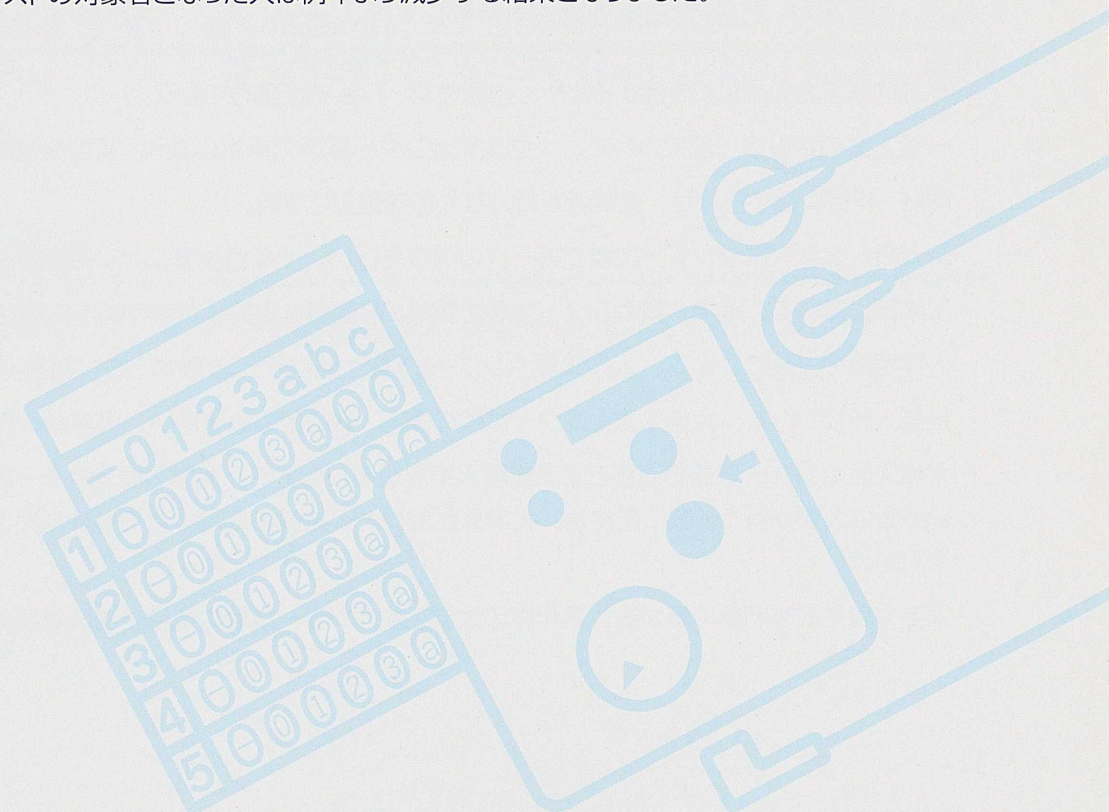
英語リスニングの監督にあたっては、動画でわかりやすく解説した DVD を各大学に配付しています。

2 結果の概要

平成 23 年度センター試験では、514,113 人の受験生が英語リスニングの試験を受験しました。

そのうち、IC プレーヤーの不具合等の申し出により再開テストの対象者となった人は、昨年より 118 人減の 106 人 (0.02%) でした。

なお、平成 23 年度センター試験英語リスニングの機器は、IC プレーヤー本体の一部を初めて再利用しましたが、不具合等の申し出による再開テストの対象者となった人は例年より減少する結果となりました。



平成24年度の大学入試センター試験実施日程

期日	日 程	実施内容
平成23年	5月	センター試験の実施要項を発表
	9月1日(木)～	センター試験受験案内を配付 受験特別措置の出願前申請受付
	10月3日(月)～14日(金)	センター試験の出願受付
	11月上旬まで 12月中旬まで	センター試験志願者に確認はがきを送付 センター試験志願者に受験票等を送付
平成24年	1月14日(土)・15日(日)	センター試験【本試験】
	1月18日(水)【予定】 1月20日(金)【予定】	センター試験の平均点等の中間発表 センター試験の得点調整実施の有無の発表
	1月21日(土)・22日(日)	センター試験【追試験】
	2月 2日(土)【予定】 4月16日(月) 以降	センター試験の平均点等最終発表 センター試験の成績通知希望者に成績通知書を送付

平成24年度の大学入試センター試験出題教科・科目等

期日	教科・グループ(注1)	時間・配点	出題方法等	科目選択の方法等
平成24年1月14日(土)	地理歴史 「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	2科目受験 9:30～11:40 (うち解答時間120分) (200点)	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(注4)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。
	公民 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	1科目受験 10:40～11:40 (100点) (注3)		
	国語(注2) 『国語』	13:00～14:20 (200点)	「国語総合」、「国語表現I」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
	外国語(注5) 『英語』 『ドイツ語』※ 『フランス語』※ 『中国語』※ 『韓国語』※	【筆記】 15:10～16:30 (200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 17:10～18:10 (うち解答時間30分) (50点)	『英語』は、「オーラル・コミュニケーションI」及び「英語I」に加えて「オーラル・コミュニケーションII」と「英語II」に共通する事項を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。
平成24年1月15日(日)	理科 「理科総合A」 「理科総合B」 「物理I」「化学I」 「生物I」「地学I」	2科目受験 9:30～11:40 (うち解答時間120分) (200点) 1科目受験 10:40～11:40 (100点) (注3)	『数学I・数学A』は、「数学I」と「数学A」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。
	数学① 「数学I」 『数学I・数学A』	13:00～14:00 (100点)		
	数学② 「数学II」 『数学II・数学B』 『工業数理基礎』※ 『簿記・会計』※ 『情報関係基礎』※	14:50～15:50 (100点)	『数学II・数学B』は、「数学II」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の4項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。〔数列、ベクトル、統計とコンピュータ、数値計算とコンピュータ〕 『簿記・会計』は、「簿記」及び「会計」を総合した出題範囲とし、「会計」については、会計の基礎、貸借対照表、損益計算書、財務諸表の活用の4項目の内容のうち、会計の基礎を出題する。 『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。

- (注1) 国語、理科及び外国語(「英語」を除く。)は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。
数学は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います。第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とします。
- (注4) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注5) 外国語において「英語」を選択する受験者は、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行います。解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分となります。
なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

平成24年度 大学入試センター試験参加大学

平成23年3月31日現在

国立大学

北海道大学	北海道教育大学	室蘭工業大学	小樽商科大学
帯広畜産大学	旭川医科大学	北見工業大学	弘前大学
岩手大学	東北大学	宮城教育大学	秋田大学
山形大学	福島大学	茨城大学	筑波大学
筑波技術大学	宇都宮大学	群馬大学	埼玉大学
千葉大学	東京大学	東京医科歯科大学	東京外国語大学
東京学芸大学	東京農工大学	東京芸術大学	東京工業大学
東京海洋大学	お茶の水女子大学	電気通信大学	一橋大学
横浜国立大学	新潟大学	長岡技術科学大学	上越教育大学
富山大学	金沢大学	福井大学	山梨大学
信州大学	岐阜大学	静岡大学	浜松医科大学
名古屋大学	愛知教育大学	名古屋工業大学	豊橋技術科学大学
三重大	滋賀大学	滋賀医科大学	京都大学
京都教育大学	京都工芸繊維大学	大阪大学	大阪教育大学
兵庫教育大学	神戸大学	奈良教育大学	奈良女子大学
和歌山大学	鳥取大学	島根大学	岡山大学
広島大学	山口大学	徳島大学	鳴門教育大学
香川大学	愛媛大学	高知大学	福岡教育大学
九州大学	九州工業大学	佐賀大学	長崎大学
熊本大学	大分大学	宮崎大学	鹿児島大学
鹿屋体育大学	琉球大学		

公立大学

釧路公立大学	公立ほこだて未来大学	札幌医科大学	札幌市立大学
名寄市立大学	青森県立保健大学	青森公立大学	岩手県立大学
秋田県立大学	国際教養大学	宮城大学	山形県立保健医療大学
会津大学	福島県立医科大学	茨城県立医療大学	群馬県立県民健康科学大学
群馬県立女子大学	高崎経済大学	前橋工科大学	埼玉県立大学
千葉県立保健医療大学	首都大学東京	神奈川県立保健福祉大学	横浜市立大学
新潟県立大学	新潟県立看護大学	富山県立大学	石川県立大学
石川県立看護大学	金沢美術工芸大学	福井県立大学	都留文科大学
山梨県立大学	長野県看護大学	岐阜県立看護大学	岐阜薬科大学
静岡県立大学	静岡文化芸術大学	愛知県立大学	愛知県立芸術大学
名古屋市立大学	三重県立看護大学	滋賀県立大学	京都市立芸術大学
京都府立大学	京都府立医科大学	大阪市立大学	大阪府立大学
神戸市外国語大学	神戸市看護大学	兵庫県立大学	奈良県立大学
奈良県立医科大学	和歌山県立医科大学	島根県立大学	岡山県立大学
新見公立大学	尾道大学	県立広島大学	広島市立大学
福山市立大学	下関市立大学	山口県立大学	香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学	高知工科大学	高知県立大学	北九州市立大学
九州歯科大学	福岡県立大学	福岡女子大学	長崎県立大学
熊本県立大学	大分県立看護科学大学	宮崎県立看護大学	宮崎公立大学
沖縄県立看護大学	沖縄県立芸術大学	名桜大学	

私立大学

■ は平成24年度新規参加大学 ■ は平成24年度新規参加学部がある大学

旭川大学	札幌大学	札幌学院大学	札幌国際大学
千歳科学技術大学	天使大学	道都大学	苫小牧駒澤大学
日本赤十字北海道看護大学	函館大学	藤女子大学	北翔大学
北星学園大学	北海学園大学	北海商科大学	北海道医療大学
北海道工業大学	北海道情報大学	北海道文教大学	北海道薬科大学
酪農学園大学	稚内北星学園大学	青森大学	青森中央学院大学
八戸大学	八戸工業大学	■ 弘前医療福祉大学	弘前学院大学
富士大学	盛岡大学	石巻専修大学	尚絅学院大学
仙台大学	■ 仙台白百合女子大学	東北学院大学	東北工業大学
東北福祉大学	東北文化学園大学	東北薬科大学	宮城学院女子大学
秋田看護福祉大学	日本赤十字秋田看護大学	ノースアジア大学	東北芸術工科大学
東北公益文科大学	東北文教大学	いわき明星大学	郡山女子大学
東日本国際大学	■ 茨城キリスト教大学	■ 筑波学院大学	つくば国際大学
常磐大学	流通経済大学	足利工業大学	国際医療福祉大学
作新学院大学	獨協医科大学	桐生大学	■ 宇都宮共和国
白鷗大学	関東学園大学	共愛学園前橋国際大学	群馬医療福祉大学
群馬パーパス大学	上武大学	高崎健康福祉大学	高崎商科大学
東京福祉大学	跡見学園女子大学	■ 浦和大学	■ 共栄大学
東都医療大学	人間総合科学大学	埼玉学園大学	埼玉工業大学
十文字学園女子大学	城西大学	植草学園大学	尚美学園大学
女子栄養大学	駿河台大学	西武文理大学	東京国際大学
獨協大学	日本医療科学大学	日本工業大学	日本薬科大学
文教大学	文京学院大学	平成国際大学	■ 明海大学
ものづくり大学	江戸川大学	川村学園女子大学	神田外語大学
敬愛大学	国際武道大学	秀明大学	淑徳大学
城西国際大学	聖徳大学	清和大学	千葉科学大学
千葉工業大学	千葉商科大学	中央学院大学	帝京平成大学
東京歯科大学	東京情報大学	東京成徳大学	東洋学園大学
■ 日本橋学園大学	了徳寺大学	麗澤大学	和洋女子大学
青山学院大学	亜細亜大学	桜美林大学	大妻女子大学
嘉悦大学	北里大学	共立女子大学	杏林大学
恵泉学園大学	工学院大学	國學院大學	国際基督教大学
国士舘大学	こども教育宝仙大学	駒澤大学	駒沢女子大学
実践女子大学	芝浦工業大学	順天堂大学	昭和大学
昭和女子大学	昭和薬科大学	白梅学園大学	白百合女子大学
杉野服飾大学	成蹊大学	成城大学	清泉女子大学
専修大学	創価大学	大正大学	大東文化大学
高千穂大学	拓殖大学	多摩大学	玉川大学
多摩美術大学	中央大学	津田塾大学	帝京大学
デジタルハリウッド大学	東海大学	東京医科大学	東京医療保健大学
東京音楽大学	東京家政大学	東京家政学院大学	東京経済大学
東京工科大学	東京工芸大学	東京純心女子大学	東京女子館大学
東京女子大学	東京女子体育大学	東京聖栄大学	東京電機大学
東京都市大学	東京農業大学	東京富士大学	東京未来大学
東京薬科大学	東京理科大学	東邦大学	東洋大学
二松学舎大学	■ 日本大学	日本歯科大学	日本社会事業大学
日本獣医生命科学大学	日本女子大学	日本女子体育大学	日本赤十字看護大学
日本文化大学	文化学園大学	法政大学	星薬科大学
武蔵大学	武蔵野大学	武蔵野音楽大学	武蔵野美術大学
明治大学	明治学院大学	明治薬科大学	明星大学
目白大学	ヤマザキ学園大学	立教大学	立正大学
ルーテル学院大学	和光大学	早稲田大学	麻布大学
神奈川大学	神奈川工科大学	鎌倉女子大学	関東学院大学
相模女子大学	産業能率大学	松蔭大学	第一薬科大学
昭和音楽大学	鶴見大学	桐蔭横浜大学	東洋英和女学院大学
フェリス女学院大学	横浜商科大学	横浜美術大学	横浜薬科大学
敬和学園大学	長岡大学	長岡造形大学	新潟医療福祉大学
新潟経営大学	新潟工科大学	新潟国際情報大学	新潟産業大学
新潟青陵大学	新潟薬科大学	新潟リハビリテーション大学	高岡法科大学
富山国際大学	金沢学院大学	金沢工業大学	金沢星稜大学
金城大学	北陸学院大学	北陸大学	仁愛大学
福井工業大学	健康科学大学	帝京科学大学	山梨英和大学
山梨学院大学	佐久大学	諏訪東京理科大学	清泉学院大学

長野大学	松本大学	松本歯科大学	朝日大学
岐阜医療科学大学	岐阜経済大学	岐阜女子大学	岐阜聖徳学園大学
中京学院大学	中部学院大学	東海学院大学	静岡英和学院大学
静岡産業大学	静岡福祉大学	静岡理工科大学	聖隷クリストファー大学
常葉学園大学	浜松大学	浜松学院大学	富士常葉大学
■ 愛知大学	愛知医科大学	愛知学院大学	愛知学泉大学
愛知工科大学	愛知工業大学	愛知産業大学	愛知淑徳大学
愛知東邦大学	愛知みずほ大学	桜花学園大学	金城学院大学
至学館大学	修文大学	椋山女子学園大学	星城大学
大同大学	中京大学	中部大学	東海学園大学
同朋大学	豊田工業大学	豊橋創造大学	名古屋外国語大学
名古屋学院大学	名古屋芸術大学	名古屋経済大学	名古屋芸術大学
名古屋産業大学	名古屋商科大学	名古屋女子大学	名古屋文理大学
南山大学	日本福祉大学	人間環境大学	藤田保健衛生大学
名城大学	皇學館大学	鈴鹿医療科学大学	鈴鹿国際大学
四日市大学	四日市看護医療大学	成安造形大学	■ 聖泉大学
長浜バイオ大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	大谷大学
京都華頂大学	京都外国語大学	京都学園大学	京都光華女子大学
京都嵯峨芸術大学	京都産業大学	■ 京都女子大学	京都精華大学
京都造形芸術大学	京都橘大学	京都ノートルダム女子大学	京都文教大学
京都薬科大学	種智院大学	成美大学	同志社大学
同志社女子大学	花園大学	佛教大学	平安女学院大学
明治国際医療大学	立命館大学	■ 龍谷大学	藍野大学
大阪青山大学	大阪医科大学	大阪大谷大学	大阪観光大学
大阪学院大学	大阪河崎リハビリテーション大学	大阪経済大学	大阪経済法科大学
大阪芸術大学	大阪工業大学	大阪国際大学	大阪産業大学
大阪樟蔭女子大学	大阪商業大学	大阪女学院大学	大阪成蹊大学
大阪総合保育大学	大阪電気通信大学	大阪人間科学大学	大阪保健医療大学
大阪薬科大学	追手門学院大学	関西大学	関西医療大学
関西外国語大学	■ 関西福祉科学大学	近畿大学	■ 四條畷学園大学
四天王寺大学	摂南大学	千里金蘭大学	相愛大学
太成学院大学	帝塚山学院大学	常盤会学園大学	梅花女子大学
羽衣国際大学	阪南大学	東大阪大学	ブール学院大学
桃山学院大学	大手前大学	■ 関西看護医療大学	関西国際大学
関西学院大学	関西福祉大学	近畿医療福祉大学	近大姫路大学
甲子園大学	甲南大学	甲南女子大学	神戸海星女子学院大学
神戸学院大学	神戸芸術工科大学	神戸国際大学	神戸夙川学院大学
神戸松蔭女子学院大学	神戸女学院大学	神戸女子大学	神戸親和女子大学
神戸常盤大学	神戸薬科大学	神戸山手大学	園田学園女子大学
姫路獨協大学	兵庫大学	兵庫医科大学	兵庫医療大学
武庫川女子大学	流通科学大学	畿央大学	帝塚山大学
天理大学	奈良大学	奈良産業大学	鳥取環境大学
岡山商科大学	岡山理科大学	川崎医療福祉大学	環太平洋大学
吉備国際大学	倉敷芸術科学大学	くらしき作陽大学	山陽学園大学
就実大学	中国学園大学	ノートルダム清心女子大学	美作大学
■ エリザベト音楽大学	日本赤十字広島看護大学	比治山大学	広島経済大学
広島工業大学	広島国際学院大学	広島修道大学	広島女学院大学
広島都市学園大学	広島文化学園大学	広島文教女子大学	福山大学
福山平成大学	安田女子大学	宇部フロンティア大学	東亜大学
徳山大学	梅光学院大学	山口福祉文化大学	山口学芸大学
山口東京理科大学	四国大学	■ 徳島文理大学	四国学院大学
高松大学	聖カタリナ大学	松山大学	松山東雲女子大学
九州栄養福祉大学	九州共立大学	九州国際大学	九州産業大学
九州情報大学	九州女子大学	久留米大学	久留米工業大学
産業医科大学	■ 純真学園大学	西南学院大学	西南女学院大学
聖マリア学院大学	第一薬科大学	中村学園大学	筑紫学園大学
西日本工業大学	日本経済大学	■ 日本赤十字九州国際看護大学	福岡大学
福岡工業大学	福岡国際大学	福岡歯科大学	福岡女学院大学
福岡女学院看護大学	保健医療経営大学	西九州大学	活水女子大学
長崎ウエスレヤン大学	長崎外国語大学	長崎国際大学	長崎純心大学
長崎総合科学大学	九州看護福祉大学	九州ルーテル学院大学	■ 熊本学園大学
熊本保健科学大学	尚絅大学	崇城大学	日本文理大学
別府大学	立命館アジア太平洋大学	九州保健福祉大学	南九州大学
宮崎国際大学	宮崎産業経営大学	鹿児島国際大学	鹿児島純心女子大学
志学館大学	第一工業大学	沖縄大学	沖縄国際大学

平成24年度 大学入試センター試験参加短期大学

平成23年3月31日現在

公立短期大学

■ は平成24年度新規参加短期大学 ■ は平成24年度新規参加学科がある短期大学

名寄市立大学短期大学部	岩手県立大学宮古短期大学部	岩手県立大学盛岡短期大学部	秋田公立美術工芸短期大学
山形県立米沢女子短期大学	会津大学短期大学部	川崎市立看護短期大学	長野県短期大学
岐阜市立女子短期大学	静岡県立大学短期大学部	三重短期大学	倉敷市立短期大学
新見公立短期大学	島根県立大学短期大学部	大分県立芸術文化短期大学	鹿児島県立短期大学

私立短期大学

■ は平成24年度新規参加短期大学 ■ は平成24年度新規参加学科がある短期大学

帯広大谷短期大学	札幌国際大学短期大学部	札幌大学女子短期大学部	北翔大学短期大学部
北海道武蔵女子短期大学	青森短期大学	青森中央短期大学	八戸短期大学
仙台青葉学院短期大学	日本赤十字秋田短期大学	東北文科大学短期大学部	いわき短期大学
郡山女子大学短期大学部	宇都宮短期大学	國學院大學栃木短期大學	関東短期大学
群馬医療福祉大学短期大学部	高崎健康福祉大学短期大学部	高崎商科大学短期大学部	東京福祉大学短期大学部
新島学園短期大学	聖徳大学短期大学部	青山学院女子短期大学	大妻女子大学短期大学部
嘉悦大学短期大学部	共立女子短期大学	駒沢女子短期大学	実践女子短期大学
昭和女子大学短期大学部	女子栄養大学短期大学部	女子美術大学短期大学部	杉野服飾大学短期大学部
東京家政大学短期大学部	東京成徳短期大学	東京農業大学短期大学部	東京富士大学短期大学部
東京立正短期大学	日本大学短期大学部	文京学院短期大学	山野美容芸術短期大学
立教女学院短期大学	鎌倉女子大学短期大学部	相模女子大学短期大学部	昭和音楽大学短期大学部
横浜創英短期大学	明倫短期大学	富山短期大学	富山福祉短期大学
金沢学院短期大学	金城大学短期大学部	小松短期大学	星稜女子短期大学
北陸学院大学短期大学部	仁愛女子短期大学	福井医療短期大学	山梨学院短期大学
信州短期大学	清泉女学院短期大学	松本大学松商短期大学部	中部学院大学短期大学部
静岡英和学院大学短期大学部	常葉学園短期大学	愛知医療学院短期大学	愛知学院大学短期大学部
愛知学泉短期大学	愛知工科大学自動車短期大学	愛知江南短期大学	愛知大学短期大学部
愛知みずほ大学短期大学部	岡崎女子短期大学	至学館大学短期大学部	修文大学短期大学部
豊橋創造大学短期大学部	名古屋学芸大学短期大学部	名古屋経済大学短期大学部	名古屋女子大学短期大学部
名古屋短期大学	名古屋文理大学短期大学部	南山大学短期大学部	滋賀短期大学
びわこ学院大学短期大学部	池坊短期大学	大谷大学短期大学部	華頂短期大学
京都光華女子大学短期大学部	京都文教短期大学	京都聖母女学院短期大学	龍谷大学短期大学部
大阪学院短期大学	大阪芸術大学短期大学部	大阪国際大学短期大学部	大阪産業大学短期大学部
大阪女学院短期大学	大阪成蹊短期大学	関西外国語大学短期大学部	関西女子短期大学
近畿大学短期大学部	四天王寺大学短期大学部	梅花女子大学短期大学部	プール学院大学短期大学部
平安女学院大学短期大学部	大手前短期大学	神戸女子短期大学	神戸常盤大学短期大学部
産業技術短期大学	園田学園女子大学短期大学部	姫路日ノ本短期大学	武庫川女子大学短期大学部
白鳳女子短期大学	和歌山信愛女子短期大学	川崎医療短期大学	吉備国際大学短期大学部
作陽音楽短期大学	山陽学園短期大学	就実短期大学	中国短期大学
美作大学短期大学部	山陽女子短期大学	鈴峯女子短期大学	比治山大学短期大学部
広島文化学園短期大学	安田女子短期大学	山口芸術短期大学	四国大学短期大学部
徳島文理大学短期大学部	高松短期大学	今治明德短期大学	愛媛女子短期大学
聖カトリナ大学短期大学部	松山東雲短期大学	九州女子短期大学	久留米信愛女学院短期大学
西南女学院大学短期大学部	筑紫女学院大学短期大学部	東筑紫短期大学	福岡工業大学短期大学部
福岡女学院大学短期大学部	福岡女子短期大学	佐賀女子短期大学	西九州大学短期大学部
尚絅大学短期大学部	大分短期大学	別府大学短期大学部	別府清部学園短期大学
南九州短期大学	宮崎学園短期大学	鹿児島国際大学短期大学部	鹿児島純心女子短期大学
鹿児島女子短期大学			

注1 大学入試センター試験に参加する大学・短期大学によっては、学部・学科・専攻等により参加しない場合もあるので、各大学・短期大学の募集要項などで確認してください。
2 私立大学の参加学部については、大学入試センターのホームページ(<http://www.dnc.ac.jp/>)を御覧ください。

大学入試センター試験参加大学数の推移

年度	国立大学(参加定員)	公立大学(参加定員)	私立大学(参加定員)	計
19	83大学(96,066名)	74大学(25,138名)	450大学 1,243学部(49,802名)	607大学
20	82大学(95,868名)	73大学(25,322名)	466大学 1,316学部(55,024名)	621大学
21	82大学(96,174名)	74大学(26,496名)	487大学 1,380学部(57,875名)	643大学
22	82大学(96,058名)	75大学(26,546名)	494大学 1,404学部(60,050名)	651大学
23	82大学(96,266名)	79大学(27,646名)	504大学 1,440学部(61,780名)	665大学
24	82大学(96,266名)	79大学(27,646名)	513大学 1,461学部(62,157名)	674大学

注1 夜間部・夜間主コースは1学部として集計している。
2 平成24年度については、平成23年3月31日現在の予定数。

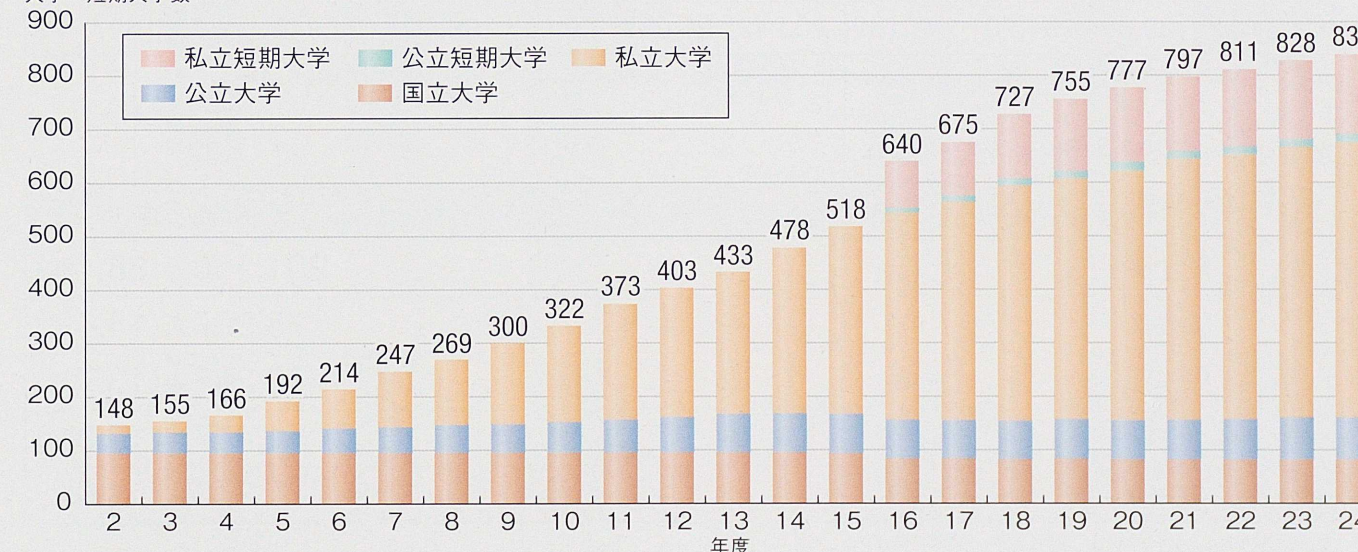
大学入試センター試験参加短期大学数の推移

年度	公立短期大学(参加定員)	私立短期大学(参加定員)	計
19	14短期大学 35学科(1,024名)	134短期大学 323学科(2,569名)	148短期大学
20	17短期大学 43学科(1,224名)	139短期大学 321学科(2,610名)	156短期大学
21	15短期大学 39学科(1,072名)	139短期大学 324学科(2,659名)	154短期大学
22	15短期大学 39学科(1,050名)	145短期大学 326学科(2,681名)	160短期大学
23	15短期大学 38学科(957名)	148短期大学 326学科(2,835名)	163短期大学
24	16短期大学 41学科(988名)	149短期大学 334学科(2,855名)	165短期大学

注1 夜間部・夜間主コースは1学科として集計している。
2 平成24年度については、平成23年3月31日現在の予定数。

大学入試センター試験参加大学・短期大学数

大学・短期大学数



平成23年度 大学入試センター試験の実施状況

- ① 実施日 平成23年1月15日①・16日②(追・再試験は1月22日・23日)
- ② 高等学校卒業予定者 1,065,587人(「学校基本調査」から推計)
- ③ 志願者数 558,984人
 - 卒業見込者 442,421人(卒業予定者数に対する現役志願率 41.5%)
 - 卒業者等 116,563人
- ④ 受験者数 527,793人(志願者数に対する受験率 94.42%)
- ⑤ 利用大学数 665大学・163短期大学(詳細は12ページを参照)
- ⑥ 試験場・試験室数 706試験場(うち点字試験場4) 9,139試験室

⑦ 教科別受験者数(追・再試験含む)

区分	国語	地理歴史	公民	数学①	数学②
受験者数	505,504人	367,293人	325,057人	386,582人	350,111人
区分	理科①	理科②	理科③	外国語(筆記)	外国語(リスニング)
受験者数	210,968人	251,021人	177,988人	520,680人	514,113人

⑧ 教科・科目別受験者数

		受験科目数									
		9科目	8科目	7科目	6科目	5科目	4科目	3科目	2科目	1科目	合計
受験教科数	6教科	20,664	88,424	84,810	7,352	—	—	—	—	—	201,250
	5教科	—	6,277	108,144	8,230	10,937	—	—	—	—	133,588
	4教科	—	—	185	4,560	12,118	32,583	—	—	—	49,446
	3教科	—	—	—	100	3,231	16,222	104,974	—	—	124,527
	2教科	—	—	—	—	11	138	1,126	14,733	—	16,008
	1教科	—	—	—	—	—	—	4	213	2,757	2,974
	合計	20,664	94,701	193,139	20,242	26,297	48,943	106,104	14,946	2,757	527,793

注 黄色内は、可能性のある組合せの枠、赤色内は、あり得ない組合せの枠。 平均受験教科数 4.70教科、平均受験科目数 5.86科目。

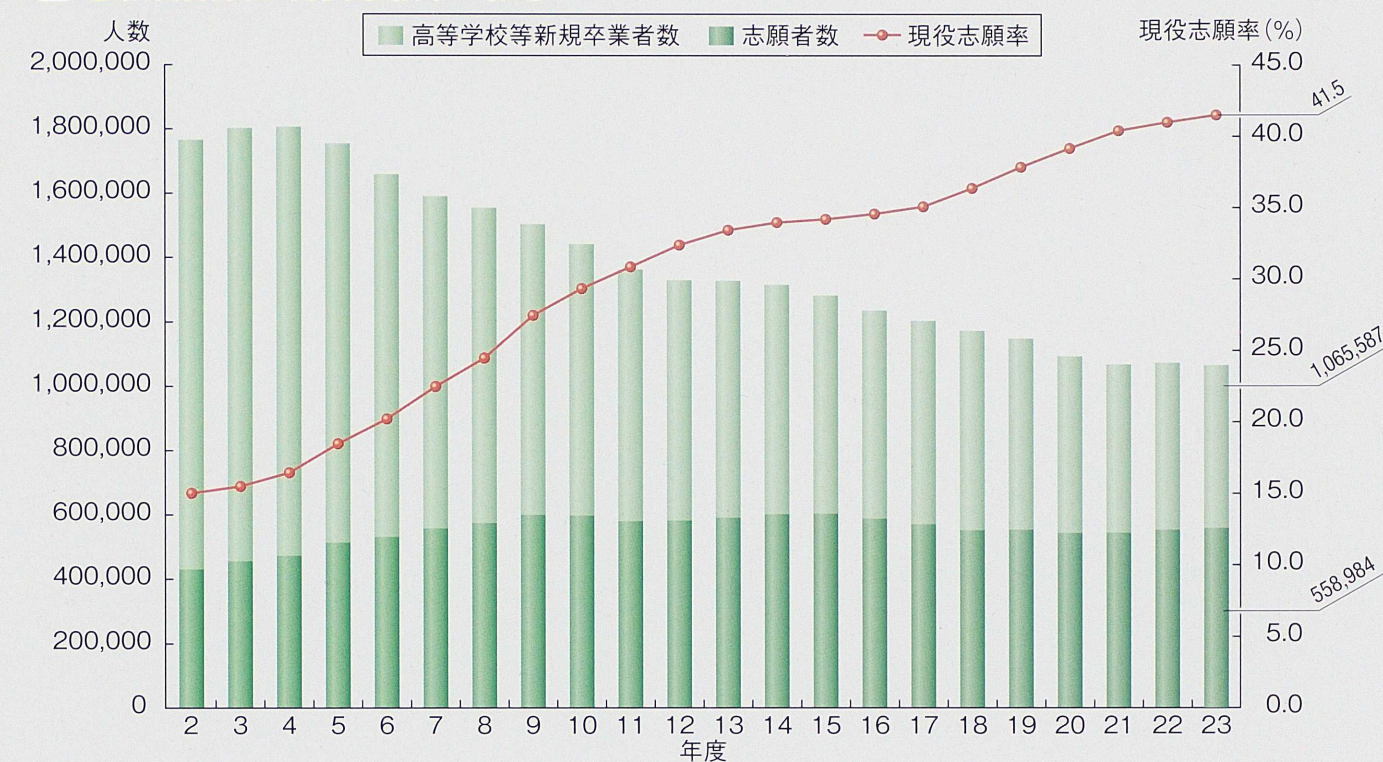
⑨ 教科組合せ別受験者数(多い方から5つ)

順位	受験教科数	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	受験者数
1	6教科	○	○	○	○	○	○	201,250人(38.1%)
2	3教科	○	○	—	—	—	○	75,907人(14.4%)
3	5教科	○	—	○	○	○	○	72,287人(13.7%)
4	5教科	○	○	—	○	○	○	54,427人(10.3%)
5	4教科	○	○	○	—	—	○	21,348人(4.0%)

注 “○”は受験した教科、“—”は、受験しなかった教科を示す。

(参考)

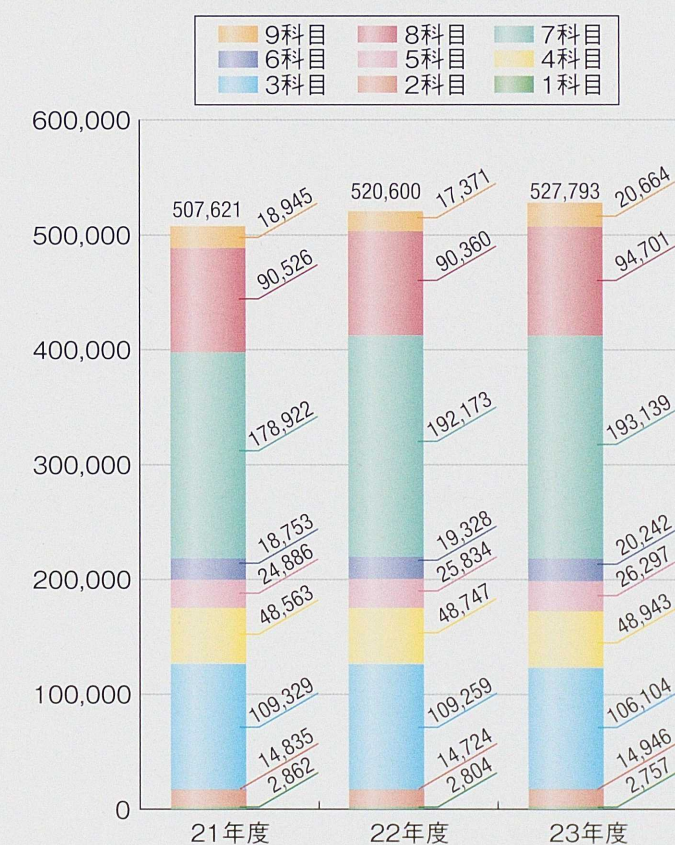
① 志願者数及び現役志願率の推移

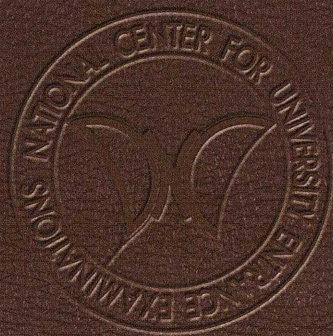


② 教科数別受験者数の推移



③ 科目数別受験者数の推移





独立行政法人 **大学入試センター**

〒153-8501 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

Tel.03-3468-3311(代表)

ホームページアドレス <http://www.dnc.ac.jp/>